



今月の一枚

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2024年(令和6年)

6月号

VOL.368

惣骨塔・拡張工事を担当する中伊石材のみなさん(令和6年5月14日・順慶寺境内墓地にて)

◆◆ 惣骨塔の拡張 ◆◆

順慶寺墓地管理委員会では、昨今の家庭環境の変化から、平成23年8月から墓地を共同で持ち合う惣骨塔を境内墓地区画に新設した。当初、埋骨者の銘板をはめる50年分のスペースを作った予定であったが、12年で満杯となったため拡張された。拡張スペースには、個別区画も新設された。

◇ 怠ければ生きながら屍となる ◇

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より

「励みつとめれば不死に至り

怠りなまければ死に至る。

励みつとめる人は死ぬことがなく

怠り怠ける人は、生きた屍しかばねである。

(第二十一偈)

この道理をはつきりと知り

励みつとめる賢い人は

努力に喜びを見出し

聖なる境地を楽しむ。」

からの出典です。

(第二十二偈)

自らの欲求に任せて、なすべきことを忘れて生活すると、やがて人々から忘れ去られ、孤独の世界に堕ちていく。これが道理であると釈尊は教えて下さっています。

今月のところは、かつて、釈尊の妻候補にあった、マーガンディヤールという女性が起こした出来事をもとになっています。

マーガンディヤールは、①バアッサ国の②ウデーナ王の側室になりましたが、釈尊に好意を抱か

今月の釈尊の言葉



励み勤めれば共にあり

怠りなまければ

忘れ去られる

◆ダンマパダ(法句経)

第二十一偈より

欲望や怒りに身を任せて、精進を忘れた王妃が、最期に受けた結末を伝え一節です。



若院のテーマカット NO.61



れなかったことを怨み、釈尊に帰依する別の側室(サーマーヴァティー)と侍女たちを誘いだし、生きたまま火を放ってしまいました。サーマーヴァティーは侍女たちに対し、火の中においても、怠らず釈尊のおっしゃる通りに生きなさいと伝え、そのまま絶命していききました。

この事実を知ったウデーナ王は、サーマーヴァティーの徳を偲び、マーガンディヤールを極刑にしたとされています。

その後釈尊は、弟子たちに、

「怠けている人はたとえ百年生きても死者と呼ばれます。怠けず勤めて生きる人はたとえ死ん

でも生きています」と伝えたといひます。

◇人生のしまい方◇

福島県生まれで、女性で初めて、七大陸最高峰の登頂に成功した、^⑤田部井淳子さんをご存知でしょうか。

その田部井淳子さんが、最晩年取り組まれたのが、ご自身の出身地、東北の高校生に富士登山をさせることでした。東日本大震災で、家や家族を失ない、希望を見いだせない若者たちを勇気づけるため、日本最高峰の富士山に登って、登頂できた自信と喜びを味わってもらったためでした。

高校生たちを説得し、東北から富士山まで連れてくるだけでも大変な中で、高校生に費用を負担させてはならないと、各方面からの資金集めにも奔走して大変なことだったようです。

①【ヴァツサ国】

古代インドの国名。インド北部の古代インド十六大國のひとつで、中央あたりに位置する。首都はカウシャーンビー。

②【ウデーナ王】

ヴァツサ国を最初に支配した、シャタニーカII世の息子。父の跡目を継ぎ、ヴァツサ国王となった。正室ヴァーサヴァグッタとの間に息子がいた。釈尊は、ウデーナ王の治世に何度か首都カウシャーンビーを訪

そうしているうちに、田部井さんご自身が癌に冒され、体中に転移していく中で、必死になって東北の高校生を誘い続けました。病の中で富士山にも一緒に登っていかれるその姿を、NHKが取材をして、田部井さんが亡くなるまでを一つのドキュメンタリーにして放映しました。その題名が「人生のしまい方」でした。

最期、富士山に登れなくなった体でも、富士山登頂を目指してやってきた東北の高校生たちを出迎え、見送る田部井さんの姿は、感動と涙をおいて語れません。

田部井さんが亡くなった翌年も、富士登山は続き、田部井さんの夫は、「今も淳子が励ましに来ているようだ」と高校生たちを出迎えました。

亡くなっても生き続けるということ、まさにこのことだと感じます。

れ、ウデーナ王も仏教の在家信者となったと伝えられている。

③【田部井淳子】

昭和14年9月、福島県生まれ。女性として世界で初めて世界最高峰エベレストおよび七大陸最高峰への登頂に成功した。平成26年10月20日、腹膜癌で死去。77歳。平成30年、第一回ネパール社会貢献者表彰を贈られる。平成31年、田部井氏にちなんで、国際天文学連合は冥王星の山に「Tobei Montes」と命名。



6月は梅雨の季節です。晴耕雨読と行きたいですが、何かおすすめの本などはありますか。



たね。

晴耕雨読とは、世間で心を煩わせることから離れて、心穏やかに過ごすことをいい、主に文人たちの生活スタイルを指すようです。田舎の生活では、晴れた日は野良仕事に出かけ、雨が降ったら家内で野良仕事の準備をするので、なかなか雨読とはいかなかったようです。



それでも長雨の季節になると、何日も家に閉じ込められるので、今度こそこれを読もうと立志することもあったのではないかと思います。このごろは、AIなどが盛んに取り入れられて、物事がスムーズに進むように思われますが、逆にストレスが増えて、心の栄養が必要な人が多いのではないのでしょうか。ですから、休みに読書することは、一つのストレス解消の方法だと思います。それでは、どんな本がいいか、となりますと、それは皆さまの趣向によつて様々だと思います。ただ、一つ言えることは、無心になって読める本や無心になって取り組めることが書いてある本がいいのではないかと思います。その一つに仏書があれば私たちは嬉しいですが。

《第五〇回 白骨の御文》

最近住職に代わって初七日 御文です。約五百年間読み継法要を務める機会をいただくのですが、初七日の後には必ず「白骨の御文」を拝読します。

白骨の御文は、あれよといふ間になくなってしまう人の命のはかなさ、無常さを説いたのだと思います。

お寺とともに

「雨の季節」

台風一号が発生しました。

例年よりも台風一号の発生は遅いらしいですが、沖縄をはじめとして、今年もいよいよ日本各地で本格的な雨の季節が到来しました。

昨年は、総代さんをはじめ護寺会の皆さまのおかげで、境内地の雨水の排水工事を充分にしていた

で、排水対策として境内入り口付近にコンクリを打っていただき、それが便利な参道も兼ねて助かっています。

それではということ、それまで見過ごしてきた役宅の方も雨水の排水工事をすることを決意し、こちらは家族四人で半月ほどかけて、何度もホームセンターを往復して工事を完成させました。その後、大雨の度に何とか雨水がはけていくのを確認して、いまのところ一安心しています。

毎年災害級の大雨が降る日本列島。今年は無事に過ごせるのだからかと心配は尽きません。



総代会決議により 防蟻処置を実施に変更

さる、5月19日、真宗講座修了後の総代会において、護寺会予算の補修費の使途を本堂スロープ補修から防蟻処置に変更することを決定しました。

本年4月に行われた護寺会総会にて、総代より令和6年度護寺会予算案が提案され、全会一致にて了承され、現在、令和6年度護寺会予算が執行されています。

総会前には、(株)雨宮シロアリにより、防蟻処置の保証期間が切れたことによるシロアリ調査が行われ、前回の防蟻処置以来シロアリ被害は拡大してないことが確認されました。その結果、護寺会総会では、シロアリ処置は最小限に抑えて、本堂のスロープの補修工事を実施することを提案して、予算案が了承されました。

その後、(株)雨宮シロアリより、保証期間を延長するために、再度防蟻処置をする提案がなされ、費用面で実



本堂床下の現況写真

(株)雨宮シロアリによる調査

被害のひどい庫裏床下

質価格から大幅に値引きがされていたため、急遽総代会にて緊急動議がなされ、審議することとなりました。

総代会の席上、庫裏はすでにシロアリ被害が甚大であることが判明しているから、本堂と書院のみに限定してはどうか、予算的に苦しいから来年度予算に回してはどうか、など意見が出されました。しかし、シロアリは防蟻措置をせず放つておけば、さらなるシロアリ被害がでることも考えられ

り被害が甚大であることが判明しているから、本堂と書院のみに限定してはどうか、予算的に苦しいから来年度予算に回してはどうか、など意見が出されました。しかし、シロアリは防蟻措置をせず放つておけば、さらなるシロアリ被害がでることも考えられ

本堂や庫裏も全体で防蟻処置することを優先すべきだという意見が出され、議論の結果、防蟻処置を最優先で実施することと決まりました。

その結果、本堂スロープ等の予算を令和7年度予算に後回しし、令和6年度予算を使って、防蟻処置を完全に行うこととし、護寺会規則第14条2(4)の条項により、役員会議決にて予算の変更をすることにいたしました。

護寺会の皆さまには、当寺報紙面を通じて経緯と内容を公開するとともに、護寺会総代からは、令和7年度護寺会総会にて、具体的な内容の説明がなされる予定です。

どうか、皆様方のご理解の程をよろしくお願いいたします。

より拡張されることとなり、このほど完了いたしました。

拡張工事とともに、夫婦や家族を同じ銘板に入れて欲しいという要望に添えるべく、個別スペース十四区画を設けました。以下に利用要項を示します。

夫婦、親子の個別収骨可能に 惣骨塔に個別区画整備



惣骨塔に新設された個別区画

6月より、順慶寺墓地の惣骨塔に新たな選択肢が設けられました。

現在、順慶寺境内には惣骨塔(共同墓地)がありますが、昨今の需要増に

記

一、区画利用料 ※三十万円

二、利用期限 申込から二十年間(※延長可)

三、期限後 惣骨塔に共同埋葬

四、受入開始 令和6年6月1日

五、利用資格 順慶寺護寺会員

※1 利用料には、銘板購入費および字彫り料金は含まれません。

※2 延長は一回のみ可能。延長料金は二十万円。

5月度護寺会物故者

釋壽鑑

5月8日寂 米津 壽(89)

名古屋市 米津直樹様の父

釋尼貴華

5月14日寂 堤津貴子(93)

知立市 堤英光様の母

優美院釋尼瑳宝

5月22日寂 高木さよ子(78)

市場下組 高木義廣様の妻

随縁院釋尼妙鶴

5月24日寂 岡本たづ子(79)

泉田町 岡本圭司様の母

ハナシヨウ咲き誇る

鈴木市成氏寄贈

今年も山ノ端組の鈴木市成さんが、順慶寺玄関に立派なハナシヨウを飾ってくださいました。花が開く直前に運んで下さった鈴木さんに心から感謝いたします。



玄関のハナシヨウ (鈴木市成氏寄贈)

編集部短信

◆竹林整備に十五名 5月16日、貴役の相木国男氏所有の竹林整備が行われた。相木氏の竹林では、毎年タケノコ掘り大会をさせて頂いており、総代OBの皆さんが毎年タケノコの収穫が終わると御礼に整備している。

◆二十一組同朋教室開催 5月24日、岡崎教区二十一組主催の同朋教室を開催。会場の一ツ木町法林寺様には、満堂の参詣者が集まり、四十歳の講師・川瀬氏の法話を聴聞した。順慶寺から十二名の申込があった。

編集雑誌

今年から自坊の御内仏のお取越を5月に行うことにしました。これは、前住職の命日に合わせて行いたいという寺族の願いからでしたが、前住職への思いが家をまとめることを実感しました。目下、再来年が前住職の七回忌だねと家族の話題になっています。(住)

最近また花粉症のような症状が出てきました。イネ科の花粉でしょうか。勤行中にも、とにかく鼻がむずむずしてしまうので大変です。(若)



6月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	土	(有志)寺カフェ(9:00~、順慶寺南落間他) 境内庭木の剪定(総代OB有志、お勝手会)	
2	日		
3	月	お楽しみ会(14:00~、順慶寺本堂)	
4	火		
5	水	むつみ会(14:00~、順慶寺本堂)	
6	木		木-1
7	金		
8	土	助音講(16:00~、順慶寺玄関)	
9	日		
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		木-2
14	金		

15	土	順慶寺こども会(9:00~、順慶寺本堂)	
16	日	真宗講座(16:00~、順慶寺本堂)	
17	月		
18	火		
19	水		
20	木		木-3
21	金	21組主催同朋講座(13:30~、西念寺)	
22	土		
23	日		
24	月		
25	火		
26	水		
27	木	護寺会バス旅行	木-4
28	金	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29	土		
30	日		

6月行事内容 詳細

二十一組・同朋講座

6月21日(金)

午後1時30分 西念寺(泉田町)

講師：川瀬滋氏(岐阜県願林寺)

講師：二法名(仏弟子の名告り)

5月24日に続く二回目。岐阜県より願林寺衆徒・川瀬滋氏を迎えて、「法名」と「戒名」の違いなどを中心に、仏弟子となることの意義をお話いただく予定です。

護寺会バス旅行

6月27日(木)

目的地：草津・石山寺ほか

来る6月27日に、護寺会主催のバス旅行がコロナ禍休止を経て4年ぶりに開催されます。目的地は、現在大河ドラマ「光る君へ」の舞台にもなっている、滋賀県草津・石山寺ほかです。石山寺には、大河ドラマ館が併設されており、当日、ボランティアガイドの方に案内していただき、石山寺と大河ドラマを堪能する予定です。

※参加人数の関係でバス一台とになりましたので、申込はメットになりました。ご了承ください。

お知らせ

●境内庭木の剪定について

今年から、お勝手会の皆さんに加えて総代OB有志の方が境内庭木の剪定をしてくださることになりました。これで、晩秋に加えて年二回の剪定となります。

●6月のむつみ会について

6月より、むつみ会としての活動を4年ぶりに再開する予定です。再開にあたって今年より、体の働きを整える「ゆるふわ体操」を、年二回今川町の橋本久

美子先生に教えていただきます。当日、少し体を動かせる服装でご参加ください。

●惣骨塔・個別区画6月1日から
前ページに説明されているように、順慶寺墓地にある惣骨塔の個別区画は、6月1日から受付を開始いたします。個別区画は、墓地管理委員会により承認される使用期間は二十年で、使用権は三十万円です。詳しくは、順慶寺までご相談ください。

じゅんこのときめき歳時記



みなさん、6月になりますね。いよいよ梅雨到来です。このごろは、梅雨がなかったり、集中豪雨になったり不順なことが多いですが、今年はどうでしょうか。

お寺の境内にある枝垂れ梅にも梅の実がなるのを見ることがあります。結構立派な梅の実が、たわわにみるので、楽しみに待ってみる方もあります。

梅の実が熟する前の青梅は、毒があるのでそのまま食べられないようですが、その分、色んな調理があります。有名なのは、梅酒、梅ジャム、梅シロップ、梅ジュースなど。どれ

もクエン酸が効いているので、健康増進に役立ちます。お寺の寺カフェでも梅ジュースを頂けるようです。今月の俳句は、東本願寺第二十三代のご門首で、俳句の上手だった句佛上人の俳句からです。

青梅や

小房ながら 清浄に

大谷句佛

